



福崎町立  
柳田國男・松岡家記念館  
〒679-2204  
神崎郡福崎町西田原  
1038の12  
電話：0790-22-1000

# 岩田健二郎さんの



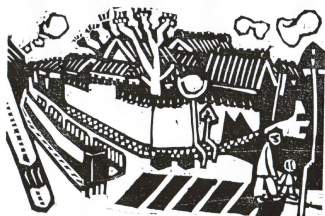
## 版画教室

記念館にて12月9日(日)に岩田健二郎さんによる版画教室を開催します。

岩田さんは、姫路市を中心として活躍されている版画家です。ご夫妻で水上村 川のほとりの美術館を開館しています。

岩田さんが丁寧に教えてくださいますので、初めての方でも作品をつくる事ができます。

版画のテーマは、年賀状です。自分自身でつくった個性的な年賀状で、年始の挨拶をしてみませんか。



岩田健三郎 作

辻川「鈴の露酒店」西の交差点

なお、事前申込みが必要です。申込みは記念館まで、お申込みください。  
また、彫刻刀が無い方は申込みの際にお伝えください。そして、小学生低学年の方は保護者同伴で参加してください。  
みなさまのご参加をお待ちしております。

### 版画教室

日時 12月9日(日) 13時30分  
場所 2階会議室  
費用 材料費100円  
持ち物 彫刻刀 筆記用具

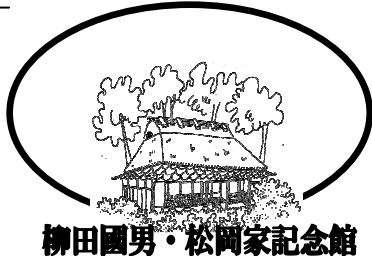
### 年賀状にみる

#### 松岡五兄弟の絆

『記念館新聞』第53号では、明治28年1月1日に國男と静雄が連名で井上通泰に年賀状を送っていることをお伝えしました。

実は、同じ年に鼎(かなえ)と輝夫も連名で、通泰に年賀状を送っています。それが下の葉書です。

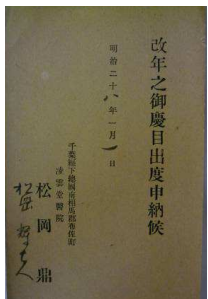
明治28年に鼎(長男)は36歳で、千葉県で凌雲堂医院を開業していま



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆

☆開館時間  
9時～16時30分  
(入館は16時まで)  
☆休館日  
月曜、祝日の翌日  
12月28日～1月4日  
☆入館料  
無料



### 名画紹介

#### 映丘「矢表」

松岡家の八男である輝夫は「映丘」(えいきゅう)と号し、日本的な主題をテーマとした作品を生み出した日本画家です。

した。そして、輝夫(八男)は15歳で、私立郁文中学に入学した年に当たります。  
さらに、通泰は当時姫路病院副院長として、姫路に赴任していました。これら通泰へ送られた2枚の年賀状からは、それぞれの道を進みながらも、兄弟が互いを気遣っていることが伺えます。

映丘の作品の一つに「矢表」(やおもて)があります。源平屋島の合戦で、佐藤継信が源義経の矢表に立って犠牲になったという題材を描いたものです。

当館には、映丘の作品の中でも、下書きにあたる画稿を約1000点以上所蔵しています。その中に「矢表」の下書きと思われる作品が4点あります。そのうちの1点が左の作品です。

映丘は一つの作品を生み出すのに何枚もの下書きを描いており、そこから試行錯誤の跡を見ることが出来ます。



11月10日に、記念館前広場で伊勢大神楽を行いました。獅子舞や皿回しをはじめとする曲芸などの伝統芸能を木村七良太夫組の皆様にご披露いただきました。

秋晴れの中、70名以上の方にお越しいただきました。本当にありがとうございました。

現在、伊勢大神楽を行った広場をはじめとする記念館周辺の整備工事を行っています。期間は、平成25年2月28日までです。

そのため、しばらくの間、ご迷惑をおかけいたします。工事中でも開館しておりますので、よろしくお願いたします。

